



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2165回例会 令和2年 2月28日(金)

【卓話 勝瀬義仁様】

2020-3-6発行

2019~2020年度

国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー
『ロータリーは世界をつなぐ』

第2570地区 ガバナー 鈴木秀憲
『つなげる:未来へつなぐ 変化:変える』

【会長】石川 泉
【副会長】尾崎 功
【幹事】奥田功次
【SAA】平岡直也



- 【点 鐘】 会長 石川 泉会員
- 【斉 唱】 ロータリーソング「我等の生業」
- 【ゲスト】 青少年交換学生
ローテックス前会長 河野宏佳様
- 【ビジター】 朝霞キャロットRC
会長
次年度ガバナー補佐 勝瀬義仁様

【会長の時間】 会長 石川 泉会員

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス肺炎の話題が連日報道されています。感染者数、死亡者数は毎週どんどん増え続けています。治療薬が無く持病を持っており、免疫力が落ちている70歳近くの私にとっては不安な気持ちでいっぱいです。早く対処法が見つかる事を祈っております。



さて、2月のロータリーは平和構築と紛争予防月間です。誰もが平和な社会を願っていると思います。ロータリーの表紙の裏に、[ロータリーと共に平和な世界を築こう。]

平和な世界は、地域社会、家庭そして自分から始まります。ロータリーは地元の人たちと共に新しい考え方を受け入れ、人と人のつながりを強め、多様性豊かな地域社会を築きます。

平和のカギは相互理解にあると信じて。]と書いてあります。

てあります。ではロータリーはどのような平和活動をしているのでしょうか?昨年紛争と暴力によって68,000万人以上が家を失い故郷をおわれました。

その半数が子どもです。私たちはこのような状況を絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを推進しています。

奉仕プロジェクト、平和フェローシップ、奨学金など様々な形で、紛争の根底にある諸問題(貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不均衡など)に取り組んでいます。

積極的な平和を推進するためロータリーは、平和と紛争研究の分野で世界をリードする独立研究機関、経済平和研究所とパートナーシップを結んでいます。

このパートナーシップにより、紛争の原因となる原因を突き止め、平和を促進する環境を作り出す活動が行われています。

2019年11月に日本を訪れたローマ教皇が長崎でのスピーチで[平和を守る責務は私たち皆が関わっており、全員が必要とされています。]

無関心でいて良い人はいない。]と話されました。世界中が平和であるように関心を持って平和運動を推進したいと思います。

2020-2021年度国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏(ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク、メルンロータリークラブ所属)が1月20日、サンディエゴで開催された国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会を捉えるよう呼びかけ、来年度のテーマを[ロータリーは機会の扉を開く]にすると発表されました。

ロータリーとは、クラブに入会すると言うだけでなく、[無限の機会への招待]であるとクナーク氏は述べました。

奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

[奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものである。]と。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる。

[私たちのあらゆる活動が、どこかで誰かのために機会の扉を開いています。]と述べられました

【幹事報告】 幹事 奥田功次会員

- 1) 例会変更の件
 1. 当クラブ
 - 3月13日(金)⇒
 - 3月8日(日) 3駅にて
募金活動に振替14:00~
 - 4月10日(金)⇒
 - 4月18日(土)~19日(日)
第2570地区 地区大会に振替
 - 4月24日(金)⇒定款による例会取止め



- 2) 次の書類を回覧します
 1. ロータリー米山記念奨学委員会より
業務委託に関する規定と業務委託覚書
 2. 2020年国際ロータリー年次大会
(ホノルル大会)参加旅行募集のご案内
 3. RI第2780地区第5グループ“IM”
中止のお詫びとお知らせ
 4. (再) 3月8日(日)米山記念奨学生終了式(開催)
と歓送会(中止)のご案内
 5. 高校生向け留学説明会
3月11日(日)午後2時開会 坂戸・オルモ
 6. 青少年育成市民会議の開催のご案内
3月4日(水)午後7時~鶴瀬コミセン第三集会室
 7. 富士見市信州縄文マラソン広告協賛金のお礼状
 8. 第5回会長幹事会の議事録(1月29日開催)
 9. 新座RC45周年記念式典のご案内
令和2年5月23日(土) ベルセゾン
 10. 朝霞・新座RCの会報
 11. 志木RCより次年度役員・理事のご案内

3) 本日、例会終了後、理事会を開催

【第11回理事会報告】

令和 2年 2月28日 クラブ例会場

出席者: 石川会長、尾崎 功副会長、奥田幹事、
横田昌則会員、星野信吾会員

外: 下山会員

議案1. 東松山むさしRCと富士見RCで協議の上、
合同例会(2/20)を中止にした。
中止に伴うキャンセル料を支払う。

内訳

東松山むさしRC登録23名(事務局を含む)	
富士見RC 登録27名(事務局を含む)	
ニュー富士大穀	30,000円
千代田寿司	10,000円
高橋惣菜	10,000円
コンパニオン	38,000円
キャンセル料合計	88,000円
人数割り	@1,760円

議案2. 3月8日(日)街頭募金活動の件
ボーイスカウト・富士見クラブ会員共に
街頭募金活動を中止に決めた。

議案3. 3月6日(金)例会と定款細則委員会は予定
通り行う。

【ご挨拶】

青少年交換学生ローテックス前会長
河野宏佳様



昨年の45周年記念式典に出席できずお詫びに参りました。又、大学卒業で社会人になりますがご呼び頂ければすぐに参りますので今後とも宜しく
お願い致します。

【贈呈】 会長 石川 泉会員

RI日本事務局より、斎藤重治、
秋元伸一郎会員にメダル、吉原孝
好会員には感謝状とメダルが届い
ております。



ご寄付有難うございました。

斎藤重治会員

【委員長報告】

○環境委員会-委員⇒ 横田昌則会員

2月18日社会奉仕炉辺会合会議録

1. 募金活動の件ですボーイスカウト共に活動を中止にしました。
2. 諏訪の森の



環境整備活動について

4月3日(金)を移動例会といたします。

集合時間・9時から木道整備 島田会員のご協力で作業員を手配する。・11時からホテルの放虫

- ・きたはら幼稚園、諏訪幼稚園、ケヤキ幼稚園に声掛けをする
- ・おにぎり、お茶の用意は致します。
- ・午前中で作業を終了予定

【出席報告】 斎藤信夫会員

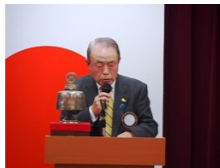
2月28日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	42名	10名	
出席数	18名	5名	43%

【ニコニコBOX】 斎藤信夫会員

勝瀬義仁様

本日は富士見ロータリーでの卓話でお邪魔します。初めての訪問ですが活気があつてうらやましいです。

宜しく願い致します。



石川 泉会長、奥田功次幹事、隈川貴久男会員、浅見隆広、尾崎 功、齋藤 茂、斎藤信夫会員、坂本元彦、島田敏郎、下山定夫、竹内英明会員、長根章浩、平岡直也、深谷雅良、星野信吾会員、横田昌則会員

勝瀬様、ようこそ。卓話宜しくお願いします。

坂本元彦、深谷雅良、竹内英明会員

河野宏佳さん、ようこそ。

横田昌則会員

社会奉仕委員会の炉辺活動ご苦労様でした。

深谷雅良会員

結婚祝、ありがとうございました。

平岡直也会員

前回、欠席いたしました。 本日合計¥25,000

【卓話】 勝瀬姓のルーツを求めて

朝霞キャロットRC

会長、次年度ガバナー補佐勝瀬義仁様



卓話要約：

”勝瀬姓のルーツを求めて”と題し、埼玉県富士見市勝瀬地区の歴史と、勝瀬姓が多い阿波徳島との因果関係が存在するの点に絞って、卓話をさせていただきます。

本来勝瀬姓の由来は、”川の瀬”が変化し、”勝瀬”となったとも言われている。(勝瀬中学久保田校長談)そして富士見市の勝瀬地名は、鎌倉、室町時代から、勝瀬孫六という豪族が歴史的に存在し、その名に由来して現在も地名として残っているようだ。

一方何故、勝瀬姓が阿波の徳島に多いのかについてその因果関係について考察してみたい。鎌倉室町時代には勝瀬孫六は、後北条氏の家来で、上杉と北条氏の川越夜戦に何度も北条軍で参加していた。

そして北条軍と足利軍は源の頼朝没後、紛争が絶えなかったが、室町幕府の細川勝元官領の仲介で和睦を結び、堀越公方政和の子・義澄(11代将軍)上洛に際し、北条が協力し約3000名の家来を伴って上洛した。その3000名の家来の一人に勝瀬孫六の子孫が入っていた可能性が高い。

そして当時はまさに“応仁の乱”で、将軍の首取り合戦が行われていて、義澄(妻・細川家出身)の子・義冬は、母の実家を頼って阿波徳島に家来約380名ほど引き連れて逃れ、平島公方となり約280年近く過ごした。

その家来の一人に勝瀬一族が入っていた可能性が強い。平島公方館周辺には、旧家で勝瀬家を名乗る人物が多い。

江戸時代には阿波藩は蜂須賀の藩領で当時されていたが、公家となった足利には手を出さず、見事に利用していた様である。現に勝瀬家は江戸

時代、蜂須賀の出城(賀島城)に仕え、普請奉行となって優遇されてきたようである。

それゆえ遠く離れた埼玉富士見勝瀬と徳島平島の勝瀬姓は、後北条、足利を媒介としてテント点が繋がるように思える。

まさに歴史のロマンである。



勝瀬孫六の豪族遺構(久保田校長談話説)

■後北条氏泰時に作成された「小田原衆所領役帳(永禄2年：1559)」に、勝瀬孫六の名が江戸77人衆の一人として記載されている。(世は室町時代)

■「小田原衆所領役帳」に勝瀬孫六「六拾ニ貫文」、難波田「百五拾貫文」との記載。*勝瀬孫六の軍役は「騎馬武者一人、徒歩武者四人、足軽十人」であった。

■現在地区には、勝瀬姓を名乗る人物は存在せず、地元では古くから勝瀬一族は足利家来として上京したのではと言われている。(その後の消息は不明?)

榛名神社(例大祭10/4) 勝瀬氏館の土塁

勝瀬氏館遺跡(鍛冶海戸遺跡)

勝瀬交差点(勝瀬791)

勝瀬の家計と住まい

生家・勝瀬の家来(1650年以降)

忠兵衛(ヤマコ?)古津の百姓(1650前後)

これ以前は不明?

↓

初代 - 弥次兵衛(次男) 分家(1700年前後)

↓

二代 - 善兵衛 (賀島長門の役大工・城づくり)

(1759：宝暦8年死亡)

↓

三代 - 紋次郎(賀島長門の役大工継承)

四代 - 弥左衛門賀前(旧姓・武兵衛、役大工)

(1826：文政9年死亡)

↓ 日和佐の勝瀬武平衛(旧家・足利の家来?)の姓移譲・勝瀬と改名・士族

(弥左衛門賀前の息子幸蔵は部屋住まいで終わり、幸蔵の息子が五代を継承)

↓

五代 - 興左エ門氏成(孫が継承、男子居らず)

(1831：天保2年死亡)

賀島家書院新築で5両献上、家紋授与

↓

六代 - 儀左エ門氏家(養子(和田島の成川為之極の三男)(1861：文久元年死亡)

賀島の家来一覧表で古津村の庄屋名で記載

七代 - 弥十郎景郷(小目付け役に昇進、二人扶持を賜る、(1877：明治18年死亡)

(普請奉行) 分家 (明治28年)

八代 - 直太郎(長男、明治28年死亡)

…初代 - 盛治郎(次男・大正12年死亡)

↓農家(妻・孝子)

…二代 - 佐一(昭和36年死亡)

…三代 - 正(平成15年死亡)

…四代 - 百二(平成2年死亡)

- 分家・義仁 - フク江 - トヨ子

↓(長男、妻・文子)

東洋大学教員(次男、妻・美千代)

…五代 - 真吾

九代 - 寛(昭和30年前後死亡)

十代 - 博(昭和50年前後死亡)

十一代 - 武 獨協大学教員

【点鐘】 会長 石川 泉 会員

例会日	毎週金曜日
時 間	12:30~13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電 話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:長根章浩

委員長:長根章浩 副委員長:森田仁一

委員:栗原 平 浅見隆広 涌井英樹 斎藤信夫